



中の
川よ
荒だ

青い雲



教育目標

「めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう」
目指す学校像：「笑顔と心のある学校」

村上市立荒川中学校
令和2年度 第6号
令和2年8月20日発行

新しい生活様式の継続

今年も、例年と少し違うお盆を過ぎられた方も多かったと思います。酷暑の夏でしたが、少しずつ過ごしやすく涼しい秋へと、季節は移り変わっていきます。

生徒は短くなった夏休みも頑張りました。一、二年生中心の新体制となった部活動は体育館、グラウンド、テニスコートや荒川総合体育館・武道場で活動しました。また、保内小学校体育館（バスケット）、グリーンパーク運動公園（特設駅伝競走部）の校外の施設も借りながら行いました。大きな声で、お互いに励まし合い、切磋琢磨しています。校内では吹奏楽部が、楽器や各パートごとにリーダーを中心に、綺麗な音色を響かせていました。技家部はパソコン検定を目指して、タイピングの速さ・正確さを身に付けるために頑張りました。美術部は制作と共に鑑賞の力を高めようと、新潟市の美術館にも出かけて鑑賞しました。どの部活動も手洗い・消毒等、感染症対策を取っています。また、休憩も適宜取り、十分水分補給もしながら活動しました。そのために、大きな事故や怪我もなく、安全で有意義な活動ができました。午後を中心に体育祭のパネル制作にも担当生徒が協力して描きました。また魅力的な応援となるように、団長はじめメンバーが、動きや振り付けを工夫しています。保護者の皆様には、

夏休み中もご多用の所、元気に学校へ送り出していただき、ありがとうございました。

二学期は、学習を更に充実させることを第一として、体育祭や青雲祭、そして延期された修学旅行が予定どおり実施できるように努めて参ります。感染症対策を十分取るなど、新しい生活様式も継続します。地域の方や保護者の皆様からもご協力をお願いします。今後、参観者の密集を防ぐために、体育祭では十分な間隔を取ることで、青雲祭の合唱コンクールでは、鑑賞者を入れ替えることなどを計画しています。学校行事は学習した成果を発表する場であり、地域・保護者の皆様から参観いただき、生徒の成長を実感していただくことで、生徒の自信につながる場です。その意味でも、多くの方からご来校をお願いします。

生徒にとって、荒川地区の皆様は、地域のよさを実感する体験的な学習を進める上で「最も強力な応援団」です。また、保護者の皆様は、学校・家庭生活を安心して送るための「最も信頼できる応援団」です。二学期も全職員が、皆様方から温かなご支援やご理解をいただき、一致団結して尽力します。どうか、よろしくお願ひします。

校長 渡辺 安治